

春日大社国宝殿 夏・秋季特別展

招福の

文様となった 動物や植物たち

令和5年7月8日(土)～12月13日(水)

10月10日(火)～12日(木)、17日(火)は展示替えのため休館



右方 蚕絵装束 袍 部分 江戸時代



国宝 赤糸威大鏡(竹虎雀飾) 部分 鎌倉時代

人々の祈りを見守る



復元模造 紫檀地螺鈿銀樋毛抜形太刀 部分 現代



国宝 金地螺鈿毛抜形太刀 部分 平安時代

春日大社 国宝殿

Kasugataisha Museum

拝観料

大人 ¥500 (20名以上400円)
高校生・大学生 ¥300
中学生・小学生 ¥200

アクセス

JR・近鉄奈良駅より
春日大社本殿前行きバス7～10分、下車すぐ
〒630-8212 奈良市春日野町160
Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114
<https://www.kasugataisha.or.jp/museum/>

文様となった **招福の** 動物や植物たち

春日大社に伝わる宝物は、神様がお持ちになり、御覧になる品々で、美しい文様で飾られています。祭礼で身に着ける装束や道具にも様々な文様が施され、その様子は絵画にも描かれています。

いにしへの文様はただ美しいだけでなく、魔除けや吉祥の祈りと深く結びついています。文様を通じて春日大社の文化や歴史を探り、楽しい文様の世界にご案内します。

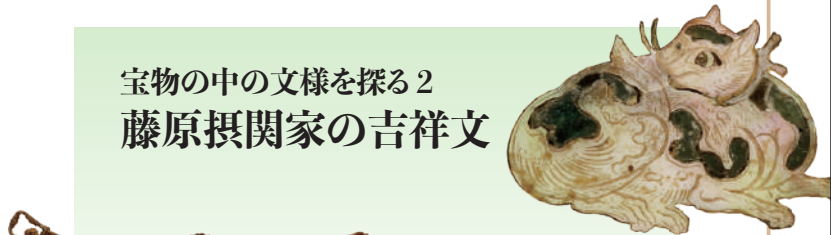
宝物の中の文様を探る1 招福の取り合わせ



重要文化財 禽獣葡萄鏡
中国・唐時代

国宝 赤系威大鐘(竹虎雀飾)
鎌倉時代

宝物の中の文様を探る2 藤原摂関家の吉祥文



〔前期展示〕 国宝 金地螺鈿毛抜形太刀 平安時代



復元模造 紫檀地螺鈿銀樋毛抜形太刀 現代

王朝の美 装束と文様



本殿御間障壁壁画衝立 現代



〔前期展示〕 春日本 春日権現験記 第三巻 江戸時代

舞楽装束の中の動植物文様



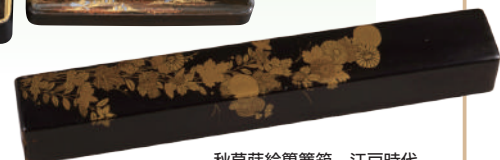
舞楽装束 崑崙八仙 袍
江戸時代

舞楽装束 林歌 袍 江戸時代

暮らしの中の招福文 春から秋へ



梅鸞蒔絵硯箱 江戸時代



秋草蒔絵筆筥箱 江戸時代